

社協 みなみ

■発行日：令和4年2月1日

■発行：社会福祉法人 横浜市内南区社会福祉協議会
会長 大津 幸雄

86号

南区承認第23号

横浜市内南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。

もくじ

- ①面…笑う門には福来る～マスク時代だからこそ笑顔大切に！～
- ②面…大岡地区・別所地区社会福祉協議会共催「合同クイズラリー」・堀ノ内・睦町地区「笑いstationWEST」
- ③面…南区社協からのお知らせ・ご報告

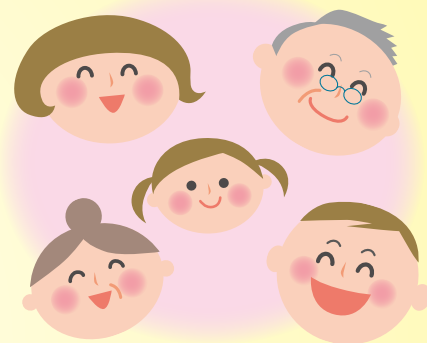
笑う門には福来る

～マスク時代だからこそ笑顔大切に！～

◎大人の笑顔は子どもの笑顔の約 30 分の 1

みなさんは1日にどのくらい笑っていますか？マスク着用が当たり前になった昨今では、「マスクをしているせいで、表情が分からず感情が読み取りづらい」との声が多く聞かれます。また、一般的に子どもの笑顔の回数が1日平均400回といわれているのに対し、成人はその回数の約30分の1。15回にも満たない回数であるといわれています。

マスク時代である今こそ、笑顔あるコミュニケーションが大切です。マスクを着用していても、相手に思いが伝わる丁寧なコミュニケーションをマスターしてみませんか？



笑いの効果



笑いによって自律神経のバランスを整えたり、ガン細胞を攻撃するNK（ナチュラルキラー）細胞が活性化し、免疫力を正常化させる効果もあります。日常生活に「笑い」をうまく取り入れて、健康で楽しい日々を送りましょう。

【出典：厚生労働省発行 こころの健康気づきのヒント集】

あなたはできていますか？

伝わる！コミュニケーション術

- ①声に抑揚をつけ、ワントーン高い声を出している
- ②大きな声でハッキリとした口調で話している
- ③マスクの下でも笑顔を心掛け、目元が笑っている
- ④頷いたりする等のジェスチャーで聞く姿勢を表している
- ⑤会話の「間」を大切にしている

いくつ当てはまったかな？
笑顔って大切なんだね！



地域と！
いっしょに！

笑顔になれる活動に取り組んでいます！

～地区を超えて地域を知ろう！～

大岡地区・別所地区社会福祉協議会共催

『合同クイズラリー』を実施しました！

『合同クイズラリー』は、大岡地区・別所地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」）を中心に、別所地域ケアプラザとの共催企画として、令和3年5月に開催されました。

緊急事態宣言等の発令もあり、地域行事そのものの開催が困難な時期でしたが、「自宅にいる期間が長い今だからこそ、地域で協力して自分たちが住む街の魅力を発信しよう」という思いのもと、クイズラリーの開催に至りました。

コロナ禍でも安心して参加してもらえる工夫として、1か月の解答期間を設け、誰でも・いつでも・どの地点からでも自由に参加できる方式をとりました。また、参加者に実際に足を運び、地域の特性を知ってもらった上で答えてもらえるよう、企画スタッフ側も工夫して、クイズを作成しました。

参加者アンケートでは「改めて地域を巡ることで、新たな発見があった」、「少し足をのびし、違う地域へ行くきっかけとなった」など、開催に対する好評の声が多くみられました。

また、両地区社協会長からは、「クイズラリーをきっかけに、地域に根差した場所を知ってもらいたい。地域を巡ることで新たな発見を見つけ、魅力を感じてほしい」と話がありました。

子どもから大人までたくさん
の人に自分たちの地域を知っ
てもらおう楽しい企画だね！

By トモニー



クイズラリーマップ

～参加者一人ひとりの力が元気の源！～

堀ノ内・睦町地区「笑い stationWEST」

『笑い stationWEST』は、“新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減ってしまった”、“人と会う機会を失ってしまった”高齢者に向けて、「こんな時だからこそ、自分たちの力で元気になる活動をしよう！」と、吉田代表を中心に町会婦人部や老人会に声を掛け、コロナ禍の中、活動が立ち上がりました。

『笑い stationWEST』の見どころは、なんといっても毎週開催＆企画イベントの内容が盛り沢山であることです。健康体操、スマホ講座、おしゃべり会など、“参加者も企画者もみんなで楽しみながらできること”に積極的に取り組んでいます。

吉田代表は「WEST が参加者同士の情報交換の場になっている。また、安否確認の場としても機能していると感じる。ここが地域とのつながりの場になればいい」と話されていました。

人生100年時代。今後も活動を続け、地域のためそして自分たちのために、地域を盛り上げ貢献していきたいとお話がありました。



11月『柴田先生との健康体操の会』のようす

人生まだまだこれから！
ぼくも見習って楽しみながら
できることに取り組んでみるぞ！

By トモニー



南区社協からのお知らせ・ご報告



令和4年度 南区ふれあい助成金説明会 ★オンライン説明会(録画配信)で行います



～市民の皆さんの非営利な地域福祉推進事業や障がい福祉推進事業を応援します～

◆◆◆助成金を申請される団体は必ずご一読ください◆◆◆

- ①コロナウイルス感染拡大防止のため、対面式の説明会は実施せず、ホームページにてオンライン説明会(録画配信)を行います。配信については、3月上旬を予定しております。
※動画視聴が可能な団体様は原則ご自宅にてご覧ください。
- ②(※)に該当しない方(動画再生機器がない等)を対象とした、説明動画の上映会を実施します。

◆◆南区ふれあい助成金(トモニー助成金)について◆◆

【助成対象団体】

南区内で活動する市民活動団体、障がい当事者および家族団体

【助成対象事業】

- 1) 複数の横浜市民を対象とする、南区内で行う地域福祉の推進を目的とした非営利事業
- 2) 横浜市・南区、または横浜市社会福祉協議会からの補助・委託等を受けていない事業
※親睦のみを目的とする事業、主に自助を目的とする事業は対象外とします。

【助成の制限】

- 1) 申し込みは **1団体1事業**とします。
- 2) 食料費・イベント等の**飲食経費は助成対象外**となります。

※詳細については南区社協ホームページでご確認ください。

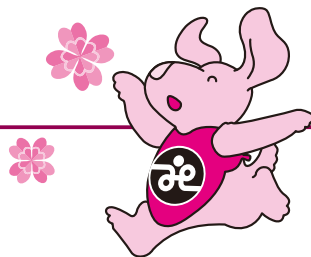
※コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催方法を変更する場合がございます。

【申込み・問合せ】

社福)横浜市南区社会福祉協議会(南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 8階)

TEL: 045-260-2510 FAX: 045-251-3264 E-mail: josei-minami@yokohamashakyo.jp

※E-mailでお問合せの際は、件名に「トモニー助成金」と記入してください。



賛助会員にご加入いただきありがとうございました

地域活動やボランティア活動等の一部には、行政からの補助金や共同募金などが使われています。しかし、活動を安定・充実させるためには、それらの財源だけでは十分でなく「地域ぐるみの応援」が必要となります。南区社協では、世帯(個人)、法人・団体に賛助会員にご加入いただいております。令和3年12月末日現在、3,671,150円ものご協力をいただきました。ありがとうございました。引き続き、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

賛助会員寄付者 ※敬称略、順不同

・相模サービス株式会社 ・石井 良夫

令和3年度 日赤会費募集にご協力ありがとうございました

12月末日現在、南区地区委員会に寄せられました会費は11,409,368円です。主に区内の火災等の被害者へのお見舞金や地域の防災活動費、国内外の災害援助活動等の資金として使わせていただきます。

南区福祉功労者感謝の会

南区の社会福祉向上のために尽力・貢献された方々に感謝の意を伝えるため、南区社会福祉協議会と南区役所共催で「南区福祉功労者感謝の会」を11月18日(木)に実施しました。

今年度は、6名の個人と3団体の方々が受表彰されました。

授彰式後、区長・会長・受彰者・推薦者の方々と写真撮影を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き規模を縮小しての開催となりましたが、和やかに終えることができました。



善意銀行寄付者 (令和3年10月1日～12月31日) ※敬称略、順不同

扇 小敏
神奈川県土建一般労働組合
大場 章雄
浜
藤平 沙希

かまどたんじろう・星空みゆき・
大谷 翔平
大山祇神示教会
手芸ボランティアすずらん
高松 清美
横浜太極拳同好会

編集・発行

社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会

〒232-0024 横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
TEL: 045-260-2510 FAX: 045-251-3264

ホームページ <http://www.minami-shakyo.jp>

編集委員／有藤勲・上野隆子・大八木綾子・小川正治・高橋祥世・永井正己(五十音順)



ボラぴ!!

no.36

「ボラぴ!!」のぴは
ピッピッと感じるアンテナ
ピースのぴ
ぴかいちのぴ
Pit inのぴ



南区ボランティアセンター
南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
Tel. 260-2531 Fax. 251-3264
◆開館：年末年始をのぞく午前9時～午後5時◆
(日・祝祭日も開館しております)

ボランティア連絡会結成40年



南区ボランティア連絡会が結成40年を迎え、記念誌を発行しました。
この2年間はコロナ禍で思うような活動ができなかったですが、40年の活動を振り返り、次のステップに向けて新たな一歩を踏み出しました。

活動紹介・体験の場であるボランタリーフェスタは今年度も中止となりますが、南区社会福祉協議会のホームページに加入グループの活動紹介を掲載しています(<http://www.minami-shakyo.jp/work/volunteer/group.html>) のでぜひご覧ください。また、記念誌は南区社会福祉協議会で閲覧することができます。



ゴミ拾いボランティア ～9月24日～

南区ボランティアセンターでは、初めてボランティアをする人が気軽に参加できる活動の場として9月24日にゴミ拾いボランティアを企画しました。今回は最近ボランティア登録をした方で、コロナ禍で希望する活動先がボランティアの受け入れを休止していて受け入れ再開待ちの方、初めてのボランティアで具体的な活動がなかなか思い浮かばない方を中心に、中村川周辺のゴミ拾いをしました。中村川沿いは歩道がなく、ゴミ拾いに夢中になって安全面の配慮も必要な時もありましたが、1人では拾えないような大きさのゴミを協力して拾うことで会話も増え、活動しながら参加者同士の交流を持つことができました。

今後も密にならないような工夫をしながら、年に何回か企画したいと思います。次回以降の日程については、HP等でお知らせさせていただきますので、ぜひご参加ください。



南区災害ボランティアネットワーク ～NHKニュース・防災アプリ勉強会～

11月11日(木)、NHK横浜放送局の松浦氏を講師に迎えて災害時の情報収集ツールのひとつである「NHKニュース・防災アプリ」の勉強会を開催しました。

このアプリは天気予報・台風情報だけでなく、ハザードマップ(洪水・土砂災害)・河川カメラ・水位情報・各地の災害情報や避難情報等様々な情報を見ることができ、災害発生時にはテレビがない場所や停電でテレビを見ることができない時にもライブ配信でテレビの災害報道を見ることができるとも便利なものだということがわかりました。

アプリの説明を聞いた後、実際にスマートフォンを操作しながらひとつひとつの内容を確認。どのように操作すれば自分の見たい情報がでてくるのか、一度では覚えきれないので日頃から使って確認することが大切だと思いました。

また、停電でテレビが使えない時に電池式のラジオが貴重な情報源であること、住んでいる地域の災害リスクについて知る必要性等、平時からの備えについても学ぶことができました。



NHK ニュース・防災アプリ勉強会

傾聴みなみ学習会～公開講座～ 「グリーンフケア」

日時：2月17日(木) 13:30～15:30

場所：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
多目的室(浦舟複合福祉施設10階)

参加費：無料

申込み：2月15日(火)までに電話で申込み

※「グリーンフケア」は、遺族の複雑で深刻な心の状態を理解して寄り添うことで回復のサポートをする取り組みです。



詳しく知りたい方は

NHKニュース・防災アプリ

https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html

